

令和4年度上半期報告
(9月30日現在)

KENSHINYO MINI REPORT SEPTEMBER

けんしんようミニレポート 2022



群馬県信用組合

ごあいさつ

皆さまには、平素より群馬県信用組合をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も地域の皆さまに、当組合の経営状況等をお知らせするために、令和4年度上半期の営業概要をまとめた「けんしんようミニレポート」を作成しましたので、ご高覧いただければ幸いです。

当組合は、これからも健全経営に努めますと共に、地域経済の発展に貢献できますよう取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

理事長 新野 正行

けんしんようのプロフィール (令和4年9月30日現在)

名称 群馬県信用組合
本店所在地 安中市原市668-6
設立 昭和63年4月1日(合併)
店舗数 22店舗
組合員数 41,640人
出資金 12億7千万円
役員数 176名



営業地区
富岡市、安中市、高崎市、
藤岡市、前橋市、甘楽郡、
多野郡、佐波郡玉村町

※前橋市は旧大胡町、富士見村、
宮城村、粕川村を除く地区

群馬県信用組合の経営ビジョン

当組合は「創造と貢献」を経営理念に掲げ、地域のお客さまとのふれあいを大切に、地域社会の活性化に貢献する信用組合として、地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献することが使命と考えております。

この経営理念に基づいた取り組みをさらに向上していくため、10年後を見据えた「長期経営計画『クオリティ・アップ』」を平成27年に策定し、「お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になっている」を経営ビジョンに掲げております。

長期経営計画で掲げた経営ビジョンに早く到達できるよう、努力してまいります。

長期経営計画『クオリティ・アップ』

[平成27年4月～令和6年3月]

経営ビジョン

(10年後のありたい姿)

「お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、
誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になっている」

事業ビジョン

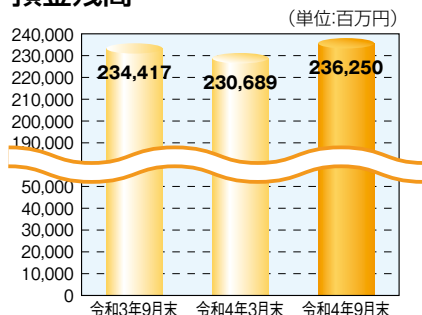
- お客さまから相談を受ける体制が充実し、お客さまのニーズに合った付加価値のあるサービスが提供できる信用組合
- 「安心して」から「快く」利用していただける信用組合
- コンプライアンスを重視し、経営内容等について透明性が高い信用組合
- 自己資本が充実し、健全性が高い信用組合
- 地域のために必要とされる信用組合
- 地域のために必要とされる役員が大勢いる信用組合

組織ビジョン

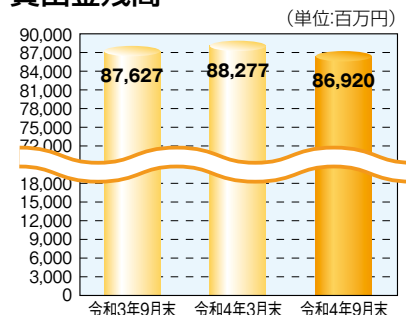
- 役職員が日頃から地域との関わりを持ち、地域社会に貢献している信用組合
- 職場内の公平性、透明性が高く、公正な評価ができる信用組合
- お客さま目線で対応ができる人材育成方法が確立している信用組合
- 営業店サポート体制が充実している信用組合
- リスク管理手法とリスク管理体制が充実している信用組合
- 職員満足度が高く、いきいきと働ける職場環境となっている信用組合

預金・貸出金残高の状況

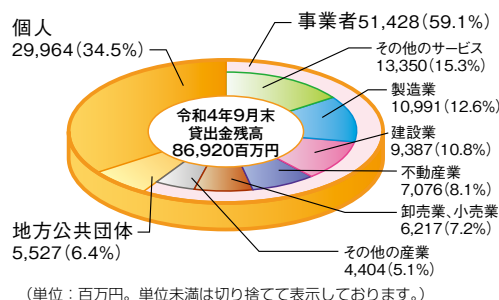
預金残高



貸出金残高



貸出金業種別残高・構成比

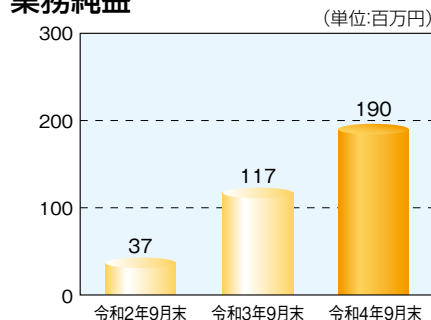


預金については、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、消費を控えられた個人の方々の預金が増加しました。また、一昨年度より県や市町村による緊急経済対策資金(融資)をご利用された事業者さまの資金の一部が歩留まりしていましたが、今年度に入り徐々に減少しております。

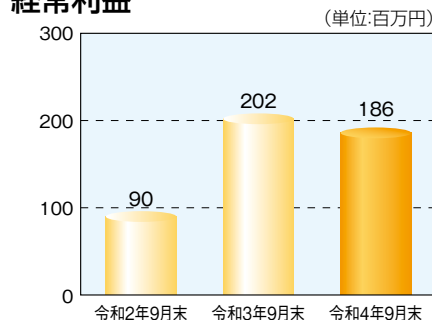
貸出金については、業種別では不動産業、その他サービス業、製造業が増加、資金使途別ではアパート資金や太陽光発電関連資金が増加となりましたが、貸出金残高全体としては、新型コロナウイルス感染症関連の融資の回収が進んだことや、地方公共団体への貸出金も減少したことなどにより前期から減少しています。

損益の状況

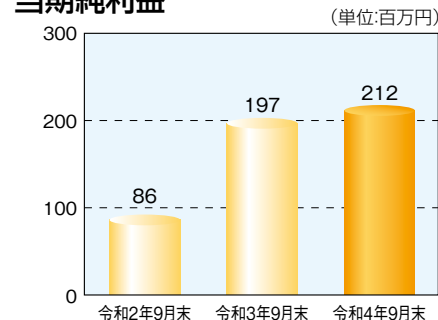
業務純益



経常利益



当期純利益



業務純益とは、本業での収益力を表す指標です。

令和4年度上半期においては、金融緩和政策の長期化などの影響等から貸出金利回りが低下したことにより貸出金利息は減少しましたが、債券の売却や各種手数料の増加、また、遊休不動産の売却益の計上などにより、当期純利益は増加しました。

有価証券の状況

(単位:百万円)

項目	令和4年3月末 評価損益	令和4年9月末			前期末比 評価損益
		取得価額	時価	評価損益	
満期保有目的の債券	△ 11	7,167	6,923	△ 243	△ 232
その他有価証券	△ 219	65,657	64,390	△ 1,267	△ 1,047
株式	△ 192	867	738	△ 129	63
債券	△ 146	54,294	53,393	△ 900	△ 754
その他	119	10,495	10,257	△ 237	△ 356
子会社・関連会社株式	—	10	10	—	—
合計	△ 231	72,834	71,323	△ 1,510	△ 1,279

(注1)「その他」は外国証券と投資信託等です。

(注2)有価証券の「時価」は、上場有価証券については決算日時価、非上場有価証券については価格等の算定が可能なものは時価相当額(公募債券については証券業協会が公表する売買参考統計値等、私募債券については証券会社等が算定する評価額等、投資信託受益権については基準価額)、その他のものは帳簿価額です。

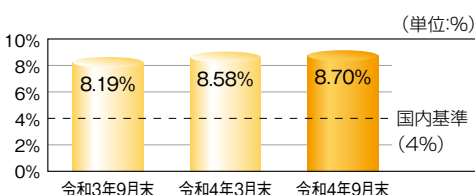
(注3)単位未満は切り捨てて表示しております。

(注4)金銭の信託、デリバティブ商品の取扱いはありません。

自己資本の充実の状況

金融機関の健全性を見る代表的な指標が自己資本比率です。自己資本比率とは、金融機関が保有する資産のうち、毀損する(損失を被る)可能性がある資産に対する自己資本の割合のことです。

自己資本比率は国内で業務を行う金融機関の場合は4%以上が必要とされ、これを下回った場合は、法律に従って金融機関に業務改善や業務停止などの早期是正措置が発動されます。これは、金融機関の経営の悪化を未然に防止するための制度です。



令和4年9月末の当組合の自己資本比率は8.70%で、令和4年3月末(8.58%)から0.12%上昇しました。

国内基準(4%)を大きく上回る水準を保っており、経営の健全性や安全性を十分に備えております。

今後も当組合は、利益を毎年着実に積み上げること等により、自己資本の充実に努めてまいります。

自己資本比率
の計算

$$\frac{\text{自己資本の額 } 8,388 \text{ 百万円}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 } 96,396 \text{ 百万円}} = 8.70\%$$

自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項目	令和4年3月末	令和4年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	8,272	8,491
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,263	1,270
うち、利益剰余金の額	7,017	7,221
うち、外部流出予定額(△)	8	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	177	174
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	177	174
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	10	10
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	8,461	8,676
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	24	38
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	24	38
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	33	32
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	204	216
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	—	—

項目	令和4年3月末	令和4年9月末
特定項目に係る10パーセント基準超過額		
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額		
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	263	287
自己資本		
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	8,198	8,388
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	91,513	92,418
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△360	△358
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	—	—
うち、繰延税金資産	—	—
うち、前払年金費用	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△480	△477
うち、上記以外に該当するものの額	119	119
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,977	3,977
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	95,491	96,396
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	8.58%	8.70%

中小企業の経営支援に関する取り組み

当組合は、営業担当者等が事業先をこまめに訪問しており、創業・新事業等の立ち上げを希望するお客さまはもちろん、創業段階を経て成長段階を迎えた事業先についても、その段階で発生するさまざまなお客さまのニーズをお聞きして、的確なアドバイスを行うよう取り組んでおります。

そのために、創業・企業再生基礎研修等に職員を派遣し、職員の能力向上に努めるとともに、創業や新事業展開を希望されるお客さまに役立つ情報を提供するため、(株)日本政策金融公庫と業務提携しております。

また、各店舗には創業・新事業のほか、事業承継や新型コロナウイルス対策に関する相談窓口を設置しており、経営相談や制度資金等に関する紹介もおこなっております。

創業・新事業開拓の支援状況

(平成30年4月から令和4年9月まで)

(単位:件)

(件数)	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度上期
創業支援	17	14	14	24	8
新事業支援	6	15	2	6	4
計	23	29	16	30	12

不良債権の状況

当組合の令和4年9月末の不良債権の状況は、自己査定結果に基づいて算出した結果を「金融再生法ベースによる開示債権」として開示しております。

令和4年9月末の不良債権は令和4年3月末から103百万円増加し、5,557百万円となりました。

また、不良債権比率は6.38%で、令和4年3月末(6.17%)から0.21%上昇しました。

金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	令和4年3月末	548	176	372	548	100.00%	100.00%
	令和4年9月末	554	142	412	554	100.00%	100.00%
危険債権	令和4年3月末	4,500	2,664	1,283	3,948	87.73%	69.92%
	令和4年9月末	4,581	2,675	1,275	3,951	86.25%	66.95%
要管理債権	令和4年3月末	404	154	32	187	46.29%	13.12%
	令和4年9月末	421	154	34	188	44.86%	12.84%
三月以上延滞債権	令和4年3月末	—	—	—	—	—	—
	令和4年9月末	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和4年3月末	404	154	32	187	46.29%	13.12%
	令和4年9月末	421	154	34	188	44.86%	12.84%
不良債権計①	令和4年3月末(イ)	5,453	2,995	1,688	4,684	85.89%	68.70%
	令和4年9月末(ロ)	5,557	2,973	1,722	4,695	84.49%	66.64%
不良債権の期中増減額(ロ-イ)		103	▲22	33	10		
正常債権②	令和4年3月末	82,909					
	令和4年9月末	81,450					
合計(①+②)	令和4年3月末	88,363					
	令和4年9月末	87,008					

(注1)「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

(注3)「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する貸出債権です。

(注4)「三月以上延滞債権」とは、元本または利息の支払いが約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金(注1.および注2.に掲げるものを除く)です。

(注5)「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等をはかることを目的として、金利の減免、利息の支払い猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金(注1.、2.および注4.に掲げるものを除く)です。

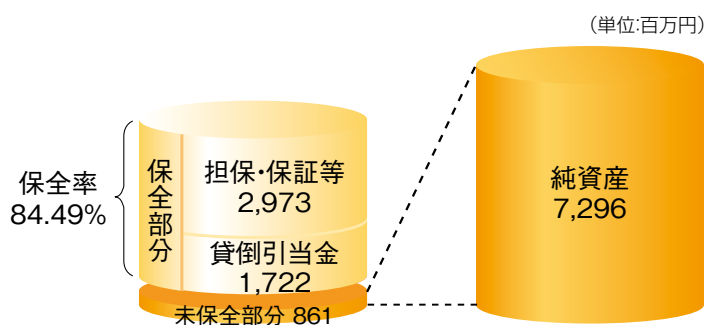
(注6)「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権(注1.、2.および注3.に掲げるものを除く)です。

(注7)単位未満は切り捨てて表示しております。

不良債権の保全状況

当組合の不良債権5,557百万円(上記のロ)のうち84.49%は、担保・保証等や貸倒引当金により保全しておりますので、万が一回収できなくても経営に大きな影響を及ぼす心配はないといえます。

また、未保全部分(861百万円)については利益剰余金などの純資産により十分カバーが可能な水準です。



財務諸表

中間貸借対照表

(資産) (負債および純資産) (単位:百万円)

科 目	令和3年9月末	令和4年9月末	科 目	令和3年9月末	令和4年9月末
現金	1,863	1,797	預金積金	234,417	236,250
預け金	93,907	85,426	借入金	4,200	3,500
有価証券	62,421	71,567	その他負債	318	327
貸出金	87,627	86,920	賞与引当金	66	82
その他資産	1,333	1,356	退職給付引当金	—	—
有形固定資産	2,093	2,071	役員退職慰労引当金	79	87
無形固定資産	15	53	その他の引当金	47	65
前払年金費用	268	299	繰延税金負債	175	—
繰延税金資産	—	23	再評価に係る繰延税金負債	46	46
債務保証見返	41	35	債務保証	41	35
貸倒引当金	△1,818	△1,858	負債の部合計	239,394	240,396
			出資金	870	1,270
			利益剰余金	7,014	7,221
			組合員勘定合計	7,884	8,491
			その他有価証券評価差額金	402	△1,267
			土地再評価差額金	72	72
			評価・換算差額等合計	474	△1,194
			純資産の部合計	8,359	7,296
資産の部合計	247,754	247,693	負債および純資産の部合計	247,754	247,693

中間損益計算書

(単位:百万円)

損失の部			利益の部		
科 目	令和3年9月末	令和4年9月末	科 目	令和3年9月末	令和4年9月末
経常費用	1,020	1,051	経常収益	1,223	1,238
預金積金利息	2	2	貸出金利息	647	644
借入金利息	△3	△3	預け金利息	65	64
その他の支払利息	0	0	有価証券利息配当金	251	289
役務取引等費用	76	69	その他の受入利息	34	78
その他業務費用	0	0	役務取引等収益	115	105
一般貸倒引当金繰入額	—	△3	その他業務収益	7	9
経費	928	935	その他経常収益	100	46
その他経常費用	15	50			
特別損失	0	0	特別利益	0	19
法人税・住民税および事業税	0	7			
法人税等調整額	4	△14			
当期純利益	197	212			

(注1)財務諸表は仮決算速報ベースで作成しております。
(注2)単位未満は切り捨てて表示しております。

TOPICS

創業相談会の開催



相談会の様子

6年前に安中市・安中市商工会・安中市松井田商工会・(株)日本政策金融公庫高崎支店・群馬県信用保証協会高崎支店・関東信越税理士会高崎支部と当組合の7機関により、安中市で創業を予定する方をサポートする「あんなか創業支援ネットワーク」を立ち上げました。

ここでは中小企業者の支援に取り組む各機関が協力し合い、起業者のニーズやステージに応じた支援を行っており、定期的な創業相談会の開催や、創業後のフォローなどを行っております。

今年度は9月までに2回開催し、10月以降も3回の開催を予定しております。

鉄道文化むらへの寄附



寄附金を手渡す五十嵐専務理事(右)

地元の観光施設である「碓氷峠鉄道文化むら」(安中市)の維持・発展を願い、建物の整備や機関車の管理などに活用してもらうため、当組合は6年前から職員による寄附活動を行っています。

今年度も8月に寄附金贈呈式が行われ、当組合の五十嵐専務理事が碓氷峠交流記念財団の中島理事長に寄附金を手渡しました。

当組合は鉄道の歴史を伝える「碓氷峠鉄道文化むら」の応援を、今後も未永く続けてまいります。

広報誌の発行



左より110号・111号

オリジナル広報誌「Shin」(平成7年創刊)を年に4回発行し、お客さまにお届けしております。

今年度は6月に110号(特集・下仁田ジオパーク)、9月に111号(特集・廃線ウォーク、碓氷峠鉄道文化むらと磯部温泉)を発行し、12月に112号(特集・富岡製糸場)、来年3月に113号(特集・未定)を発行する予定です。

キャンペーンレディの活動



黨職員(中央)

富岡どんと祭りに実況担当として参加

富岡市の観光や物産などの魅力を発信していく「富岡シルクレディ」に当組合職員の黨職員(総務部)が選出されており、6月に認証式が行われ委嘱状が交付されました。

一般社団法人富岡市観光協会や関連団体が主催する行事やイベントに参加し、富岡市の観光イメージを高めるために頑張っています。

地域イベントへの参加



妙義山ビューライドin富岡2022
(5月15日開催)



あんなか祭り
(10月9日開催)



富岡どんと祭り
(10月15日開催)

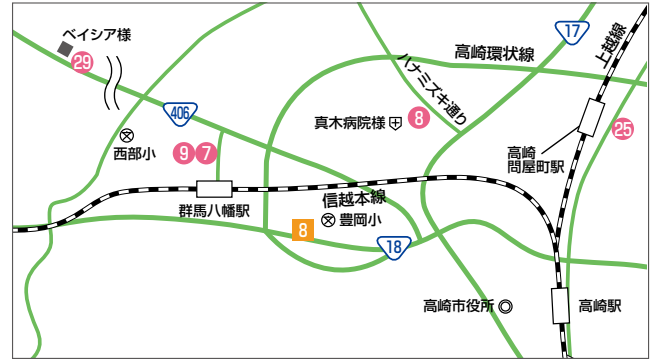
コロナ禍で中止となっていたお祭りやイベントが感染対策をしながら徐々に再開し、当組合も役職員が多数参加しお手伝いさせていただきました。

群馬県信用組合ネットワーク

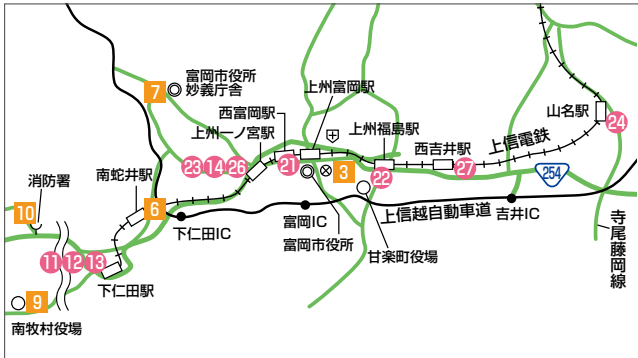
安中・松井田地区



高崎地区



富岡・甘楽地区(一部高崎地区含む)



店番	店名	電話番号	店番	店名	電話番号
20	本店営業部	027-382-6939	12	南牧支店	0274-87-2244
1	松井田支店	027-393-1133	13	西牧支店	0274-84-2221
2	安中支店	027-382-1246	14	南蛇井支店	0274-67-2611
3	原市支店	027-385-6508	21	富岡支店	0274-62-4131
4	横川支店	027-395-3111	22	甘楽町支店	0274-74-3151
5	板鼻支店	027-382-2780	23	一の宮支店	0274-63-2337
6	磯部支店	027-385-5611	24	高崎山名支店	027-346-6174
7	高崎西支店	027-323-2443	25	高崎貝沢支店	027-363-2131
8	高崎支店	027-363-2335	26	妙義支店	0274-73-3239
9	八幡支店	027-343-9777	27	吉井支店	027-387-3811
11	下仁田支店	0274-82-3311	29	榛名町支店	027-374-5545

ATMコーナー

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 碓氷病院ATM | 6 南蛇井出張所ATM |
| 2 安中市役所ATM | 7 妙義出張所ATM |
| 3 富岡東出張所ATM | 8 高崎西出張所ATM |
| 4 横川出張所ATM | 9 南牧出張所ATM |
| 5 磯部出張所ATM | 10 西牧出張所ATM |

苦情・相談専用電話のご案内

当組合ではお客さまからの苦情や相談をお受けする専用電話を設置しております。

苦情・相談窓口  **0800-800-4333** (コンプライアンス室)

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日・金融機関休業日を除く)



群馬県信用組合

(H P) <https://www.kenshinyo.co.jp/>
(E-mail) ki-master@kenshinyo.co.jp



令和4年11月 お問い合わせ先 総合企画部
〒370-2343 群馬県富岡市七日市871番地1
電話 0274-64-1717

Shinkumi Bank

